

西那須野CC(栃木) パリ五輪の興奮を 安戸山の麓で

18番 413Y パー4
グリーン周りに池と
巨大なバンカーが待ち受ける。
振り返れば安戸山、小佐飛山、
大佐飛山の雄大な景色が広がる

名匠が生み出した 日本の宝石

栃木県那須塩原市にある西那須野カントリー倶楽部は世界的コース設計家であるロバート・ボン・ヘギーが設計。那須連山の裾野に広がる54万坪の大地に、日本で最も美しく、かつ最もエキサイティングなゴルフコースを目指して造られた。

ボン・ヘギーといえは高い戦略性と同時に美しいコースを造る。光と影の魔術師。として知られるが、このコースも優大な安戸山を背に、随所に配されたマウンドが刻々と陰影を変え、コースの表情を変えていく。

今夏、パリ五輪でゴルフ競技の舞台となった「ル・ゴルフナシヨナル」も同氏の設計。スコ

ットランドを彷彿とさせる雄大な地形に、数々の池と小高い丘……。池に面した上がり4ホールなど、このコースと共通するところは多い。男子ツアー・2024年ジャパンブレイヤーズチャンピオンシッププロ・サトウ食品の舞台になったが、上級者には高い技量が要求されなど戦略性にあふれる一方、初心者にはやさしい一面をのぞかせる。全面が最高級のベントグラスで覆われているので、絨毯のようなフェアウェイから放つアイアンショットは爽快そのもの。

パリ五輪の興奮が冷め止まぬうちに、名手たちのプレーに思いをはせながらラウンドしてみるのがいいだろう。

西那須野CC(栃木)
18H-7036Y-P72

安戸山(栃木) 標高1151m



男鹿山麓に属する那須野ヶ原の西に位置する栃木百名山の一座。中腹から上部は広葉樹林で新緑や紅葉期の眺望も美しい

日本の国土の7割以上は山林である。世界に250コース以上、日本でも23コースを設計したロバート・トレント・ジョーンズJr.は日本を「ヤマランド」と呼び、日本のゴルフは山麓でプレーするものと言った。そんな日本のゴルフコースを再発見!